

(様式第2号)

平成22年度第2回 芦屋市心身障害児適正就学指導委員会 会議要旨

日 時	平成22年12月14日(火) 13:00~14:30
場 所	北館4階 教育委員会室
出席者	委員長 鈴木 紀元 (芦屋市医師会長) 副委員長 中村 整七 (芦屋市立打出教育文化センター所長) 委員 寺内 嘉一 (芦屋市医師会)(精神科医) 余吾 康幸 (芦屋市保健福祉部障害福祉課長) 水谷 幸雄 (芦屋市保健福祉部こども課保育所担当課長) 瀬戸山敏子 (芦屋市保健福祉部健康課長) 堺 執 (三田谷治療教育院長) 鎌倉 尚憲 (ひょうご発達障害者支援センター心理士) 登 正子 (芦屋市立伊勢幼稚園長) 今村 一美 (芦屋市立山手中学校教頭) 田原 得良 (芦屋市立山手小学校教諭) 専門部長 虎若 高士 (芦屋市立潮見中学校教諭) 副部長 大西 容子 (芦屋市立精道小学校教諭) 事務局 藤原 周三 (芦屋市教育長) 上月 敏子 (芦屋市教育委員会学校教育部長) 佐野 恵子 (芦屋市教育委員会学校教育部主幹) 春井 昌希 (芦屋市教育委員会学校教育課主査) 畑中 稔 (芦屋市教育委員会特別支援教育センター長)
事務局	芦屋市教育委員会学校教育課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由> 審議の内容に個人情報が含まれているため、非公開とする。
傍聴者数	0 人 (一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

(1) 審議

① 追跡調査結果報告

ア 平成22年度 追跡対象児童生徒13名について

② 専門部付託事項調査報告

ア 小学校就学の対象幼児13名について

イ 中学校就学の対象児童9名について

③ 委員諮問事項の審議

(2) 適正就学についての答申

2 提出資料

資料1 平成22年度入学児童・生徒の追跡調査報告書

資料 2 平成 23 年度就学予定幼児児童調査票及び就学相談票

資料 3 平成 22 年度芦屋市中心身障害児適正就学指導委員会専門部会審議結果一覧

3 審議経過

(1) 平成 22 年度教育上特別配慮のいる児童生徒の追跡調査結果について、事務局から報告を行った。

(2) 専門部調査及び審議結果に基づき、平成 23 年度入学予定幼児、児童の措置先等について協議を行った。

- ① 小学校入学予定幼児
- ② 中学校入学予定児童

(3) 今後の芦屋市中心身障害児適正就学指導委員会及び適正就学指導の在り方について、協議を行った。

(4) 芦屋市中心身障害児適正就学指導委員会委員長より芦屋市教育長に対し、平成 23 年度入学予定幼児、児童の芦屋市中心身障害児適正就学指導委員答申を行った。

[主な質疑・意見]

- 専門部の判断と保護者の就学希望先が異なる場合や、保護者が就学希望先を決めかねている場合の対応について、今後保護者と十分な話し合いを重ねて最終的な就学先を決定する。
- 芦屋浜に県立芦屋特別支援学校が開校したことにより、保護者は就学先を選択する際に迷うことが増えたのではないか。
- 幼稚園や保育所における就学先の相談の中で、手続きについて説明することが必要である。また、幼稚園及び保育所と小学校の連携をより一層推進することが望まれる。
- 療育手帳は本来福祉のサービスを受けるためのものであるが、知的障がいの特別支援学校等への就学の資料になるので、保護者への説明が必要ではないか。

[結論]

上記の(1)(2)(3)(4)について、出席委員が承認する。

閉会